

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第44号

第44週(10月25日～10月31日)

発行年月日:平成16年(2004年)11月5日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (44週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (44週)	全国 (44週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	9	509	7	459
	腸チフス	0	2	60	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	21	3348	8	2635
4類感染症	E型肝炎 ^(*)	0	1	25		
	オウム病	0	1	39	1	44
	ツツガムシ病	0	0	110	2	380
	デング熱	0	2	41	0	31
	マラリア	0	1	62	0	77
	レジオネラ症	0	0	121	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	1	8	492	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	250	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	140	3	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	49	0	52
	後天性免疫不全症候群	0	5	955	8	949
	ジアルジア症	0	1	74	0	99
	梅毒	0	3	419	2	493
	破傷風	0	2	85	1	69
	急性脳炎	0	0	67	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

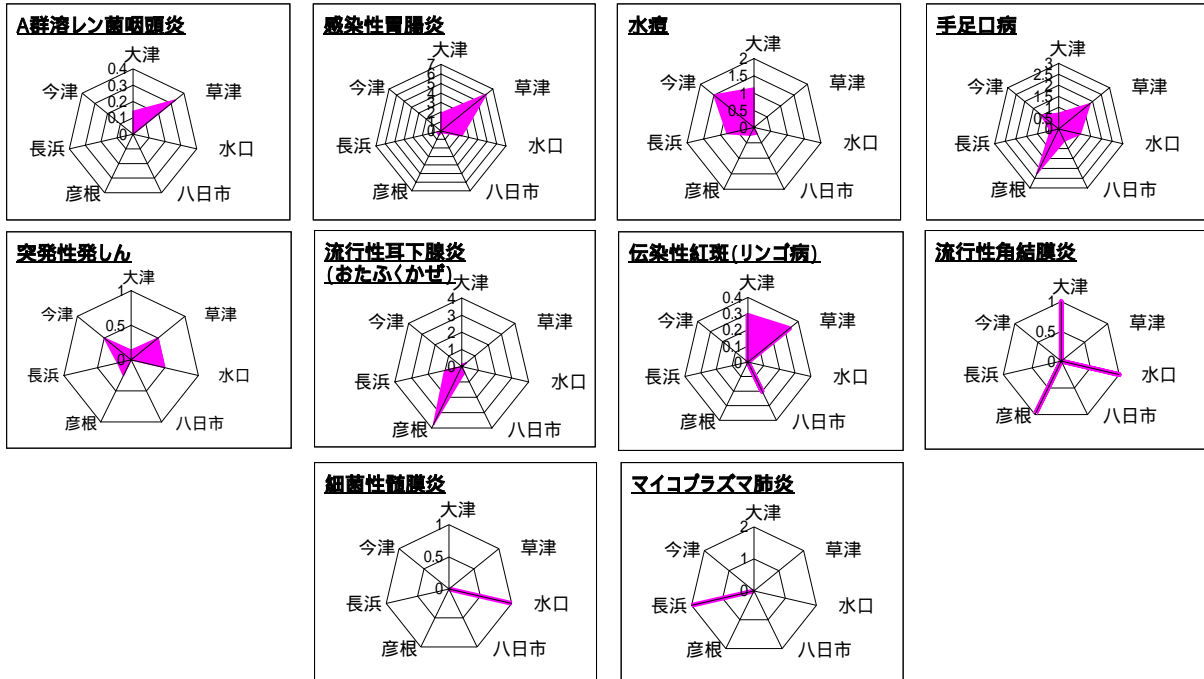
(1) 疾病別・週別発生状況(第39～44週、9/20～10/31)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	前週より増加						前週と同じ				
	39週 (9/20～)	40週 (9/27～)	41週 (10/4～)	42週 (10/11～)	43週 (10/18～)	44週 (10/25～)	週				
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	0.36	0.36	0.58	0.36	0.03	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.15	0.18	0.21	0.15	0.52	0.09					
感染性胃腸炎	1.27	1.79	1.88	1.70	1.39	1.94					
水痘	0.42	0.45	0.70	0.52	0.79	0.52					
手足口病	0.58	0.67	0.82	0.73	1.15	1.09					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.06	0.09	0.06	0	0.15					
突発性発しん	0.73	0.76	0.97	0.70	0.70	0.27					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0.06	0.03	0					
ヘルパンギーナ	0.18	0.27	0.06	0.09	0	0					
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	0.97	0.58	0.76	0.85	0.76					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0	0.14	0	0	0.43					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
無菌性髄膜炎	0	0.29	0	0.14	0.14	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.29	0.29	0.43	0.29					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第44週、10/25～10/31)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.09	0.14	0.33	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	1.94	1.86	6.17	2.25	0.20	0.50	0.40	0
水痘	0.52	1.14	0	0	0.20	0.25	0.80	1.50
手足口病	1.09	0.71	1.83	1.00	0.60	2.25	0.40	1.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.15	0.29	0.33	0	0.20	0	0	0
突発性発しん	0.27	0.14	0.50	0.50	0	0.25	0.20	0.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.76	0.14	0.33	0	0.40	3.75	1.00	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.43	1.00	0	1.00	0	1.00	0	0
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、先週是水口、八日市および今津で多くなっていましたが今週は減少しています。今週は大津および草津から報告されていますが県全体の定点当たり患者数は少なくなっています。

手足口病については、先週多くなっていた今津で減少し今週は草津および彦根でやや多く発生しています。また、県全体の定点当たり患者数は昨年の同時期より多くなっています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といいます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生に地域的な偏り 感染性胃腸炎の発生に注意

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(10月18日～10月24日)の報告数より少なくなっていますが感染性胃腸炎は増加しています。咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎等は減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

咽頭結膜熱については、定点当たり患者数は第41週(10/4～10/10)以降減少傾向を示し、昨年の同時期とほぼ同様の発生状況となっています。今週は県内7保健所管内からの報告はありません。

感染性胃腸炎については、昨年の同時期とほぼ同様の発生状況となっていますが草津および水口保健所管内の定点当たり患者数はやや増加傾向を示しています。また、八日市保健所管内においては感染性胃腸炎の集団発生がみられます。今後、冬季に増加することが考えられますので感染予防についての十分な注意が必要です。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、定点当たり患者数は先週0.85より減少し0.76となっていますが、彦根保健所管内においては先週の定点当たり患者数2.50より増加し3.75となっています。

感染症の予防について

感染症の予防についての一般的な注意としては、手洗いをする、うがいをする、十分な睡眠と栄養をとり体調を整える、患者との濃厚な接触を避けるなどですが特に手洗いを十分にすることが大事です。

正しい手洗いのポイントは、**洗い残しのないようにする、流水で洗う**です。

手洗いのしかた:手のひらを洗う 手の甲を洗う 指先、爪の間を洗う 指の間を洗う 親指を洗う 手首を洗う

右のポスターは、滋賀県感染症情報センターのホームページからダウンロードできます。

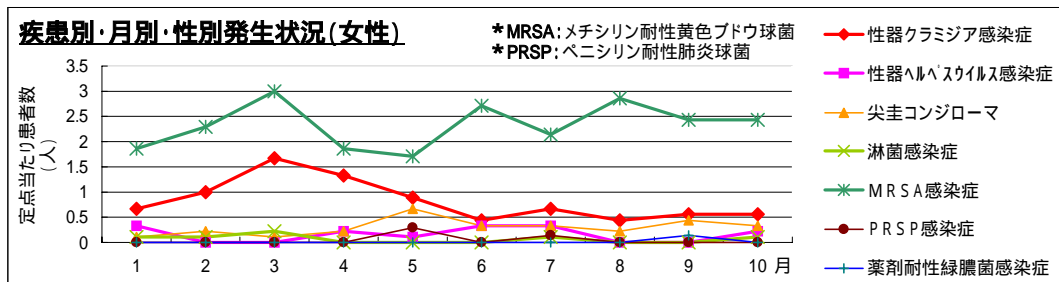
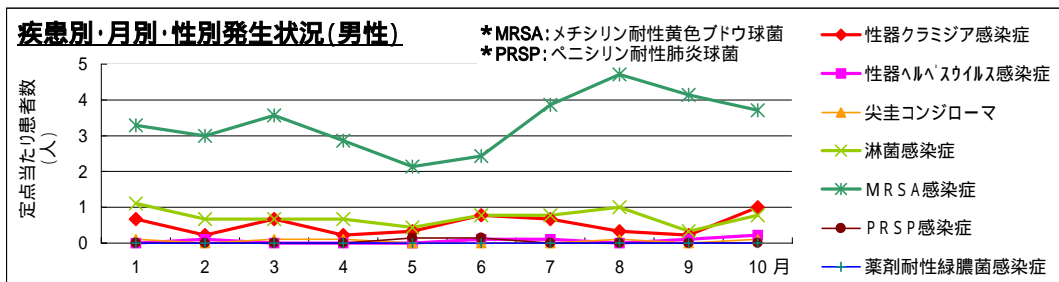
<http://www.pref.shiga.jp/e/ef45/bisei/kansen-c/index.html>



4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成16年1月～10月)

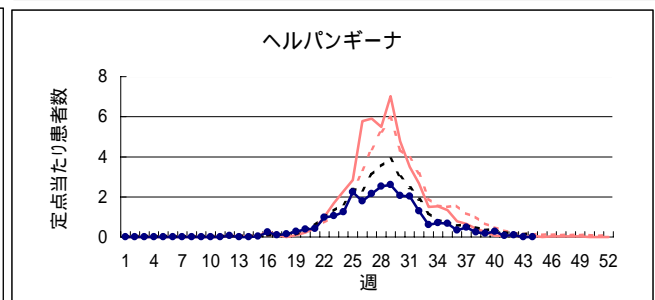
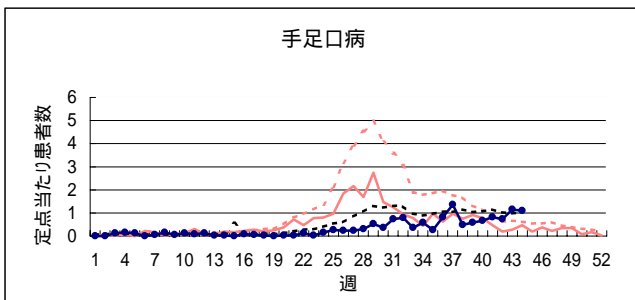
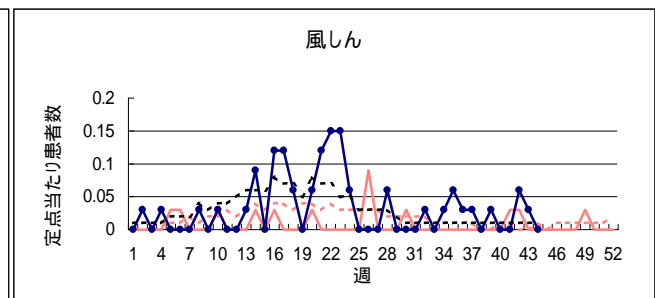
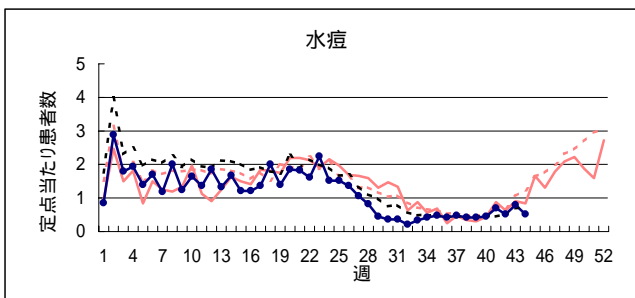
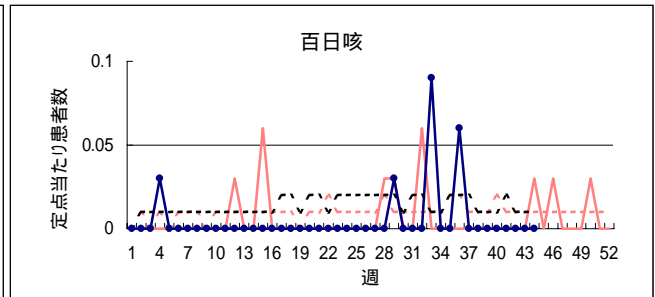
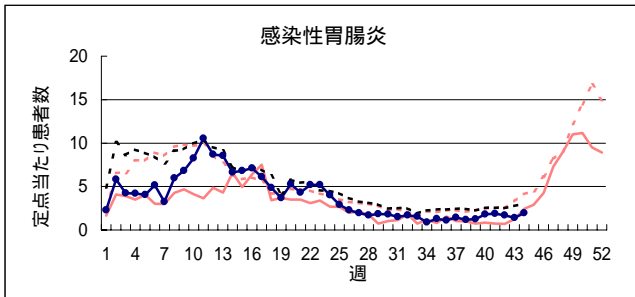
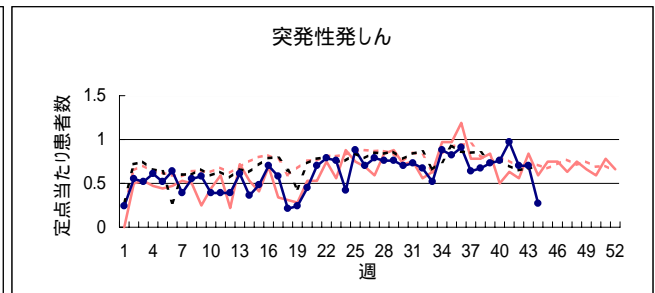
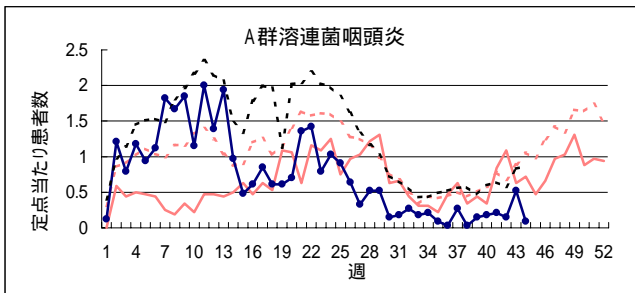
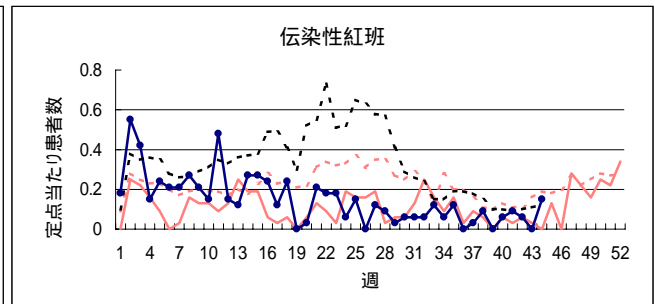
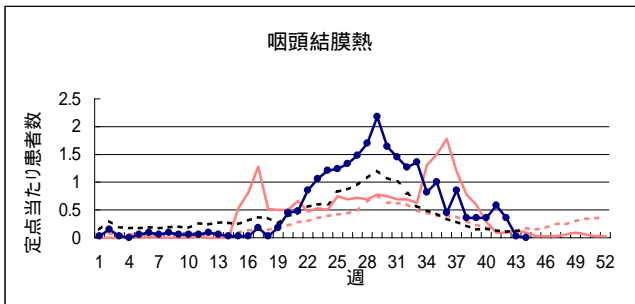
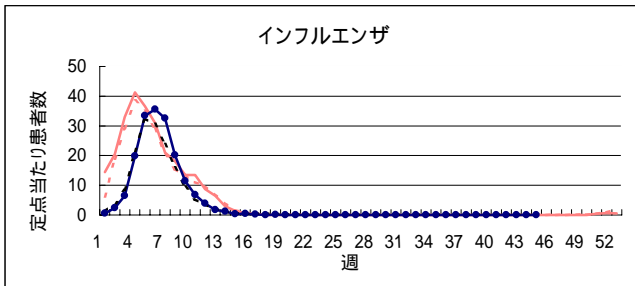
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症および淋菌感染症の定点当たり患者数は増加し、尖圭コンジローマおよびMRSA感染症の定点当たり患者数は減少しています。また、薬剤耐性緑膿菌感染症およびPRSP感染症については報告されていません(詳細については、性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

各疾患の月別・性別発生状況は下記のグラフのとおりです。先月と比較すると、性器クラミジア感染症および淋菌感染症は男性で増加しており性器ヘルペスウイルス感染症は女性でやや増加しています。MRSA感染症は男性で減少していますがその他の感染症については大きな変化はみられません。



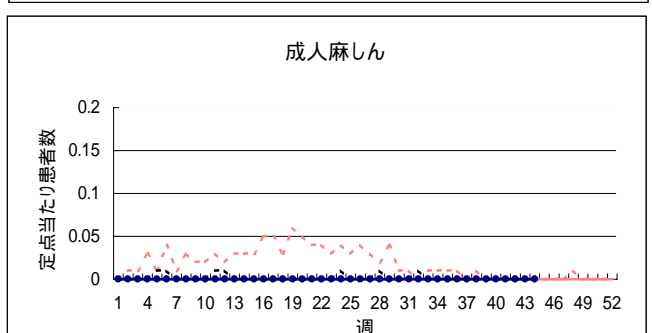
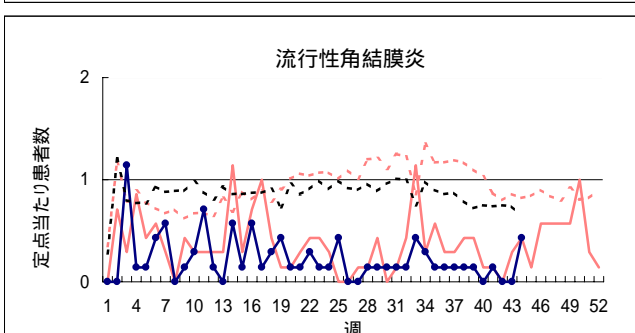
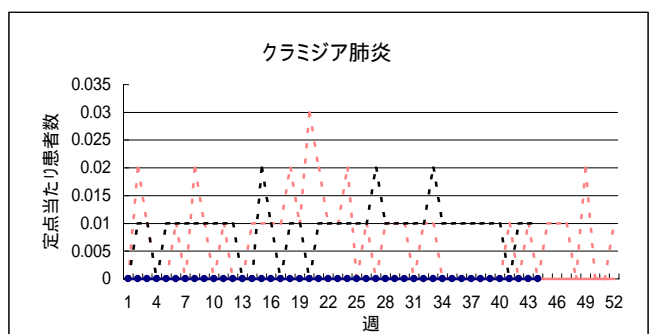
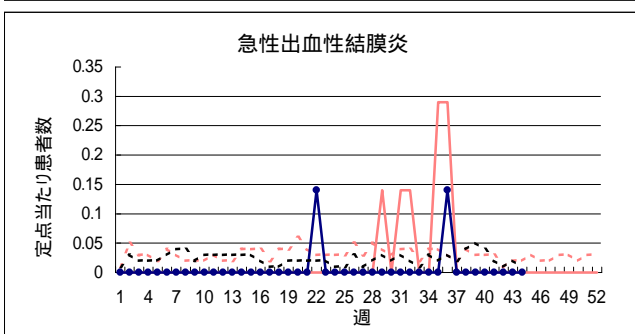
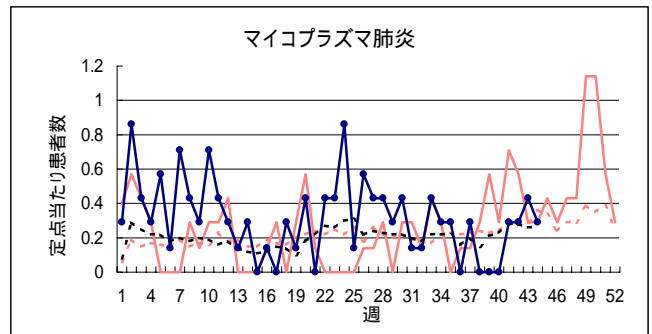
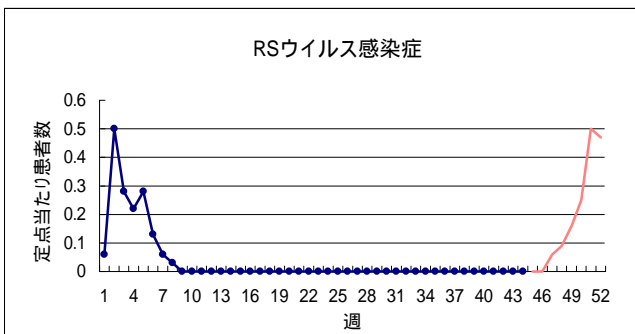
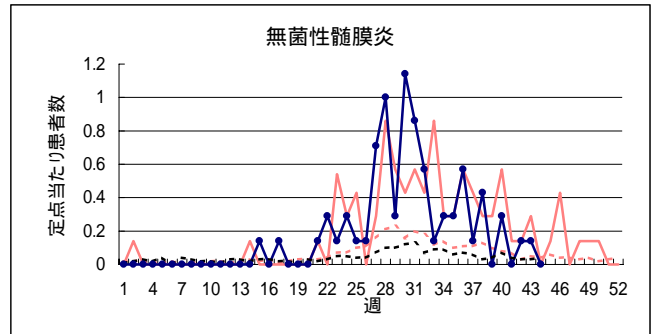
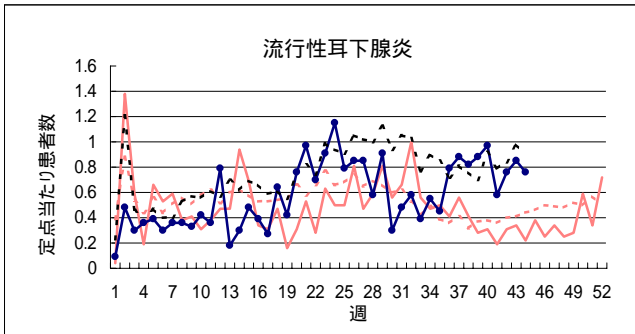
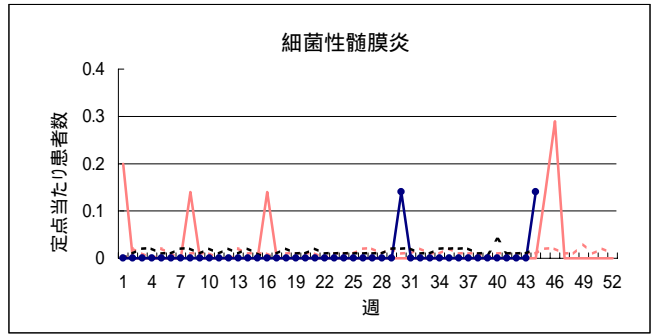
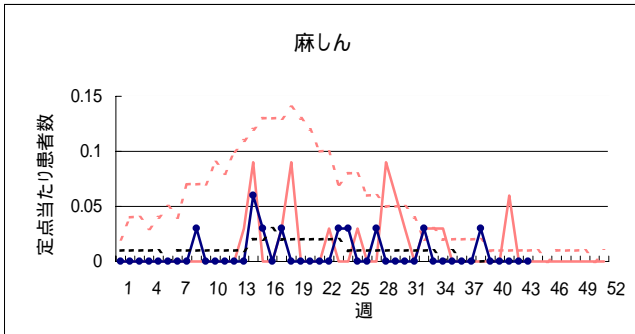
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第44週、H15.12.29～H16.10.31)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第44週、H15.12.29～H16.10.31)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H16 〔 滋賀 —●—●— 全国 〕

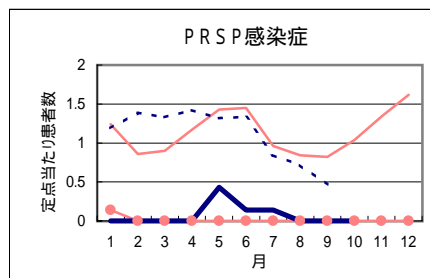
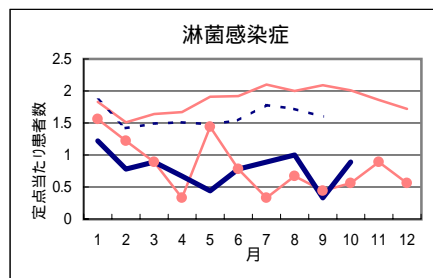
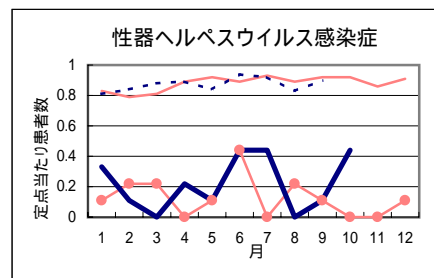
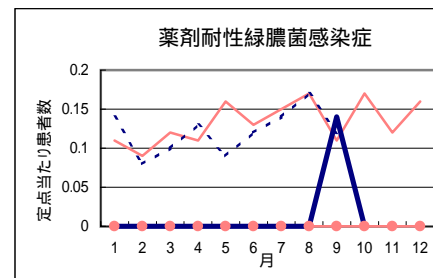
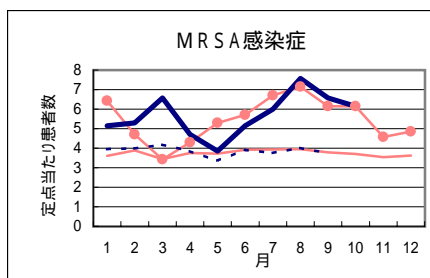
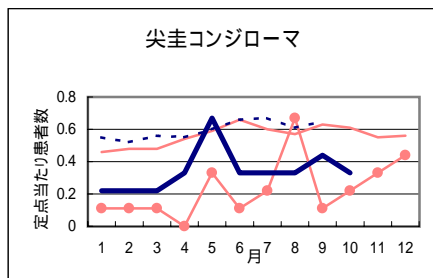
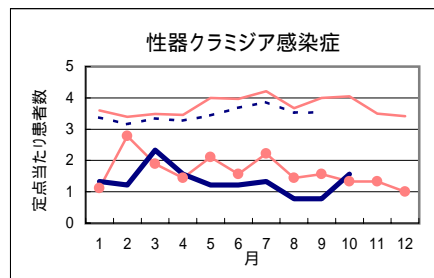


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

10月報 (集計期間:平成16年1月~10月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	12	11	21	14	11	11	12	7	7	14			120
	定点当たり	1.33	1.22	2.33	1.56	1.22	1.22	1.33	0.78	0.78	1.56			1.33
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	2	1	4	4	0	1	4			20
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.22	0.11	0.44	0.44	0	0.11	0.44			0.22
尖圭コンジローマ	罹患数	2	2	2	3	6	3	3	3	4	3			31
	定点当たり	0.22	0.22	0.22	0.33	0.67	0.33	0.33	0.33	0.44	0.33			0.34
淋菌感染症	罹患数	11	7	8	6	4	7	8	9	3	8			71
	定点当たり	1.22	0.78	0.89	0.67	0.44	0.78	0.89	1.00	0.33	0.89			0.79
MRSA感染症	罹患数	36	37	46	33	27	36	42	53	46	43			399
	定点当たり	5.14	5.29	6.57	4.71	3.86	5.14	6	7.57	6.57	6.14			5.70
PRSP感染症	罹患数	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0			5
	定点当たり	0	0	0	0	0.43	0.14	0.14	0	0	0			0.07
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0			0



H15 { 滋賀 ●●●
 全国 ———
 H16 { 滋賀 ●●●
 全国 ———

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌